

1 題材名 「私だけのシルシ」(篆刻)

2 題材の目標

- 主体的に美術の活動に取り組み、学ぼうとする意欲と態度を高める 【関心・意欲・態度】
- 自分を深く見つけ、豊かに発想しながら自分の名前の表現方法を創意工夫する 【発想や構想の能力】
- 表現意図に応じて思考錯誤する中で、更に美しい表現を創出する技能を伸ばす【創造的な技能】
- 造形的なよさや美しさ、作者の意図と創造的な表現の工夫を自分の価値意識をもって味わう 【鑑賞の能力】

3 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・篆刻に関心をもち、伝えたい内容を簡潔にしたり総合化したりして、主体的に構想を練ろうとしている。 ・作品からよさや工夫を感じ取り、自分の価値意識をもって文章にすることができる。	・伝えたい内容を多くの人に伝えるために分かりやすさや美しさを考え、表現の構想を練っている。	・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現している。 ・材料や用具の特性を生かし、表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫して創造的に表現している。	・作品からよさや工夫を感じ取り、自分の価値意識をもって文章にしている

[共通事項] イ 形や色彩の特徴などを基に、イメージをとらえている

4 題材と指導の構想

(1) 題材と生徒

篆刻は、自分を見つめて表現を模索する部分と、押印したときにわかりやすいよう単純化するデザインの要素、持ち手の彫刻といった複合的な教材であるので、これまで学んだことを生かして表現を工夫するために適切な題材であると考えます。

生徒は中学に入り、これまで版表現はしたことがない。デザインの単純化とリピテーションなどの構成要素について学んだことがある。その他、木でバターナイフを制作したことがあるため、やすりで削り出して形を整えることは2回目である。今回は石であるが、比較的やわらかい高蠟席を使うため、紐の部分の削ることは比較的容易である。木材の時は、形を削ることに興味がいき、仕上げ磨きが不十分であったが、満足してしまっている生徒が多くいた。石は仕上げに液体の研磨剤を使うことで、鏡面加工ができ、仕上がりが格段に変わるので生徒の興味も保たれるのではないかと考える。

生徒の制作を見ると、ほんの小さなつまずきで先に進めない様子が見られる。個別に話を聞くと、迷っていたり、自分の表現に自信がなくてためらっていたりした部分が多かった。その時に「苦手だからしょうがない」と諦めてしまうことが気になっている。

## (2) 指導の構想

生徒のつまづきや自信のなさを解決するために以下の手立てを講じ、「これなら自分にできそうだ」「このような表現にするなら、このようにしたらどうだろうか」と自ら課題を解決し、学び続ける態度を育てられるようにする。

### ① 知識の習得と発想を促すためのワークシートの工夫

課題に対する分析を自分でするためには、作品の構成要素や自分の思いなど様々な要因を知っておく必要がある。判断するための知識の習得をさせるために、ワークシートに書き込むスペースを作ったり、班で確認し合う時間を作ったりする。発想することが苦手な生徒に対して、名字か名前を「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「アルファベット」で書いて「○△□などの形で囲む」といった具体的な指示を書いた表を埋めさせることで発想の取っ掛かりにする。配列ワークシートの工夫をして思考の流れが整理できるようにする。そうすることによって、筋道を立てて課題を解決できるようにする。

### ② 小グループでの検討

制作途中に小グループでの検討をすることによって、自分が表現したいことが相手に伝わっているか、他の人はどのようにとらえているかを分かるようにする。デザインの最終候補を2つ挙げ、それを検討する。最終候補を2つにすることで、自分が大切にしたいことをあらためて考え直し、それぞれに対する意見から作品を客観的に見られるようにする。検討の時には、うまく伝わる・伝わらないという要因をみんなで分析することで、次に自分がどうしたらよいかを自分で決められるように支援する。

## 5 題材の指導計画（10時間）

時	学習のねらい（○）と主な活動内容（・）	評 価				
		関	発	創	鑑	評価規準
1	○篆刻について理解をし、自分らしいデザインを考えることができる。 ・篆刻について学ぶ ・課題をつかむ ・自分について発想を広げる ・広げた発想から主題を見つけ、様々なバージョンのデザインを描く	○	○			関篆刻に関心をもち、伝えたい内容を簡潔にしたり総合化したりするなど、主体的に構想を練ろうとしている。 発伝えたい内容を多くの人に伝えるために分かりやすさや美しさを考え、表現の構想を練っている。
2	○広げた発想から、自分が表現したいことをデザイン化して描くことができる ・簡潔にしたり、総合化したりしてデザインを考える ・グループ交流をして他の人のよいところを学ぶ ・書き足し、たくさんの中から2種類の印面にしぼる		○			発構想を練って、ワークシートに12個以上描いている。
3	○主題がわかるデザインにするためにどう表現したらよいかを考えることができる ・出したい感じとデザインが合っているか、グループで検討する時に、根拠をもって自分の意見を言う ・アドバイスや気付いたことから、何を大切にするのかをよく考えて修正案を1つ描く		○		○	発テーマを意識してさらに構想の改良を加えている。 鑑なぜそのように感じたのか根拠を明らかにして発言している。
4	○デザインを自分で検討して決定し、印面に写す ・全員の分を見て回る ・印面を彫る手順を理解する ・彫り始める			○		技材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現している

5	<p>○用具の適切な使い方を学び，表現意図にあった表現方法を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用具を適切に使いながら彫る</li> </ul>	○		○	<p><b>関</b>篆刻に関心をもち，伝えたい内容を簡潔にしたり総合化するなど，主体的に構想を練ろうとしている。</p> <p><b>技</b>材料や用具の特性を生かし，表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。</p>
6	<p>○試し刷りをすることで表現意図を確認しながら彫り進める，紐を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・途中で試し刷りをして，彫りが浅いところを直す</li> <li>・形が不鮮明なところを直す</li> <li>・持ちやすい紐にするにはどうしたらよいか考える</li> </ul>			○	<p><b>技</b>材料や用具の特性を生かし，表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。</p>
7	<p>○持ちやすい紐になるよう削る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印面を傷つけないよう気をつけて覆う</li> <li>・紐のデザインを決定する</li> <li>・持ちやすい形になるよう，何度も削っては持ってみる</li> </ul>		○	○	<p><b>技</b>材料や用具の特性を生かし，表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。</p>
8	<p>○全体のバランスをみながら形を整え，やすりを段階ごとにかける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐水ペーパーで段階的に磨いていく</li> </ul>	○		○	<p><b>関</b>表現方法を工夫して表現しようとしている。</p> <p><b>技</b>材料や用具の特性を生かし，表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。</p>
9	<p>○仕上げの仕方がわかる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・覆っていた紙を取り，仕上げをして紙に押印する</li> <li>・自分の作品のまとめを書く</li> </ul>			○	<p><b>技</b>材料や用具の特性を生かし，表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。</p> <p><b>鑑</b>自分の作品を振り返り，工夫した点，反省すべき点を自分の価値意識をもって記述することができる</p>

10	<p>○お互いの作品からよさを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞文を書く。発表する。</li> <li>・全員の印を人数分の紙に押す</li> </ul>	○		○	<p><b>関</b>篆刻に関心をもち、伝えたい内容を簡潔にしたり総合化するなど、主体的に構想を練ろうとしている。</p> <p><b>鑑</b>作品からよさや工夫を感じ取り、自分の価値意識をもって文章にすることができる</p> <p><b>共通事項</b>イ形や色彩の特徴などを基に、イメージをとらえている</p>
----	---	---	--	---	--

## 6 本時の計画（3時間目／全10時間）

### （1）ねらい

印面の構想について、他の人の作品を見て出したい感じとデザインが合っているか、テーマと見比べながら意見が言えるようにする。自分のアイデアスケッチにも意見をもらい、自分が何を大切にしたいのかを見直し、どのような改良を加えればよいか自分の基準をもって判断し、描くことができる。

### （2）構想

前時まで、生徒は篆刻について学び、ペアインタビューで自分に関わる部分(何が好きか、どんな感じにしたいか)の発想を広げている。そこからワークシートの指示が書いてある表に、いろいろなバージョン(文字の形：漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベット、など)のデザインを書き込み、そこから選んで組み合わせができるようにしている。

発想が進まない生徒のために、グループで制作途中の作品を見合い、そこから得たヒントからさらにアイデアスケッチを足して、検討してもらいたい2種類を用意する。

本時では、2種類のアイデアスケッチを自分のテーマと共に発表し、その案についてグループから意見をもらう時間をとる。ただ批評するだけでなく、事前に描いたいろいろなバージョンのスケッチも見ながら、「こちらの方が良いのではないか」など代案が用意できるようにする。その後、もらったアイデアを基に改良して1つのアイデアを決定する。

### （3）展開

学習活動	教師の働き掛けと予想される生徒の反応（含む学習内容）	■評価規準（観点／方法）○留意点
<p><b>導入</b></p> <p>1 前時を振り返る（4分）</p>	<p>指示：前回何をしたか振り返りましょう</p> <p>T 1：生徒のアイデアスケッチがどのように作られたかテレビに映し、生徒に聞きながら紹介する。</p> <p>S 1：ここまで考えたけれど、他の人と話してこの部分を増やしました。</p> <p>・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図をわかろうとする（鑑）</p>	<p>○みんなに分かるようにプリントをテレビに映す。</p>

学習活動	教師の働き掛けと予想される生徒の反応（含む学習内容）	■評価規準（観点／方法）○留意点
	T 2：ステキなアイデアが出たけれど、これで出したいことが全部伝わるデザインになっていますかね？ S 2：よくわからない。 S 3：他の人から意見をもらおう。	
学習課題：よりテーマに合うデザインにするにはどのようにしたらよいか		
<b>展開</b> 2 学習課題と流れの確認（6分）	T 3：学習課題提示と今日の流れの確認。 S 4：黒板をよく見る。 T 4：やり方の説明。 「名簿の早い人からスケッチとテーマを発表します。『そのデザインはテーマを伝えているか』『実現可能であるか』を視点として、第1候補について良い点・伝わる点から班員の意見を言ってもらい、作者が書き取っていきます。次に伝わりにくい点・改善点も聞いて書いていきます。大事なのは、自分の意見の根拠を明らかにしながら、作者の出したい感じをどうすればもっとよく表現できるのか、具体案を出すことです。作者も書きながら疑問に思ったことは聞いてください。第2候補について同じように意見が欲しい人は同様にします。では、名簿の早い人から始めて時計回りに話していきましょう。」	○展開を黒板に明示する。  ○発表方法のモデルを見せる。  ○3人グループにする。
指示：グループの人のアイデアがテーマと合っているか意見を言い、良くするための案を出しましょう		
3 グループによるアイデアの検討（23分）  4 まとめ（4分）	S 5：Aは、字が太い所が「堂々とした感じ」を表すのにいいと思った。 S 6：「堂々とした感じ」は出ているけれど、「野球が好き」というテーマが分かりにくいから、このアイデアスケッチにあるバットが入っているみたいに何か組み合わせられるといいのではないかな。 ・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図を自分の価値基準をもって味わう（鑑）  T 5：たくさん意見をもらったと思うけれど、この意見、全部入れられる？ S 7：まとめられるのはまとめる。 S 8：どれかにする。 T 6：何を基準に決める？	■なぜそのように感じたのか、根拠を明らかにして話す（鑑賞／ワークシート）  ○終わったグループはもらった意見の整理をして考えている。
まとめ：自分で大切にしたいことを基準とし、仲間の意見を選んで、テーマに合った字や形を描く		
指示：意見を踏まえてよりテーマに合った「最終案」を描き、デザインを決定しよう		
5 意見を踏まえて、最終案を1つ描く（8分）	T 7：ワークシートの記入について確認する。 S 10：意見を踏まえて発想し、最終案を描く。 ・テーマを踏まえ、わかりやすいデザインを構想している（発想）	■テーマを意識してさらに構想の改良を加えている（発想／ワークシート）

学習活動	教師の働き掛けと予想される生徒の反応（含む学習内容）	■評価規準（観点／方法）○留意点
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">終末</div> 6 振り返り （5分）	<p>T 8 : グループの人から意見をもらい、どんなことを意識して最終案を描いたのか？話し合いには自分の意見の根拠を明らかにして発言することができたのか？振り返りを書きましょう。</p> <p>S 11 : ゆったりした感じを出すために、字の形を少しゆがませて描くということを意識した。他の人へのアドバイスは、書いてあるテーマを見て、いろいろなバージョンから代案を出すことができた。</p>	<p>■形や色の特徴などを基に対象のイメージをとらえられる（共通事項／ワークシート）</p> <p>○すべて描ききれなかった生徒は、次回までに描いてくる。</p>

#### （４）評価

- ・作品からよい点や改善すべき点を感じ取り、自分の価値意識をもって、なぜそのように感じたのか、根拠を明らかにして発言している。（鑑賞／ワークシート）
- ・伝えたい内容を多くの人に伝えるために分かりやすさや美しさを考え、テーマを意識してさらに構想の改良を加えている。（発想／ワークシート）
- ・形や色の特徴などを基に対象のイメージをとらえられている（共通事項／ワークシート）

#### 7 参考文献・資料

- ・国立教育政策研究所 教育課程研究センター「評価基準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校 美術】平成23年11月」
- ・文部科学省「中学校学習指導要領解説 美術編」
- ・福本謹一・水島尚喜「中学校 新学習指導要領の展開 美術科編」